

戦略的イノベーション創出推進プログラム シンポジウム

平成 26 年 **12** 月 **2** 日(火) 10:00-14:15

大手町 日経カンファレンスルーム

(東京都千代田区大手町 1-3-7 日経ビル)

高齢社会を豊かにする 科学・技術・システムの創成

開催趣旨

日本は世界に先駆けて超高齢社会に急速に向かっていますが、現時点で既に全人口の約 25% が 65 歳以上の高齢者で占められており、2055 年にはそれが 40% を超えることが予測されています。そのため、労働者人口の減少、社会保障費の増加に加え、高齢者に社会参画を可能な限り延長することが求められています。しかし、この課題に対してテクノロジーで何を解決することが望まれているかが不明なことから、大学や国の研究機関等の研究は方向性が定まらないままであり、また、マーケットを作り出せなかったことから、産業界でも本格的な取り組みが行えませんでした。

このような背景のもと、本テーマでは、高齢社会における「就業等の支援」と個人の「活動の支援」の両方を実現することを目標とし、横断的で長期にわたる「産学連携」による取り組みを行っていきます。特に高齢者個人が社会活動を行いやすくなるような支援技術を追求していきます。

その中でも、人間が知的な社会生活を送る上で重要な機能である「感覚」「脳」「運動」と、それらを結ぶ「情報循環」をうまく働かせるための支援方法を構築します。同様に、コミュニティの中で必要な生活機能である「情報獲得」「コミュニケーション」「移動」と、それらを結ぶ「情報循環」を円滑にすることを支援する方法を構築します。その支援技術として、主に、インターネットに代表されるような ICT (情報コミュニケーション技術) やロボットに代表されるような IRT (情報ロボット技術) を活かす道を確認します。

さらに、高齢化は日本ばかりでなく世界的な傾向にあることから、海外での取り組み等についても常に動向を把握し、本テーマにより創成される新しい技術・システムが将来、輸出産業などにも活かされることを期待しています。

本技術テーマに関係の深い研究を進められてる先生方にゲスト講演をお願いし、進行中の 3 つの研究開発課題について、成果発表会を開催いたします。

- ① 高齢者の対話支援ロボット
- ② 人工知能がサポートする高齢者社会 —音声自然対話・医療介護業務支援—
- ③ 歩容映像解析と高齢者の健康管理
- ④ 高齢者の記憶と認知機能低下に対する生活支援ロボットシステムの開発
- ⑤ 高齢者の自立を支援し安全安心社会を実現する自律運転知能システム
- ⑥ 高齢者の経験・知識・技能を社会の推進力とするための ICT 基盤「高齢者クラウド」の研究開発

プログラム オフィサー 伊福部 達 (東京大学 名誉教授)

講演者 ※講演順、敬称略

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------|
| ① ゲスト講演 石黒 浩 (大阪大学 教授) | ④ 井上 剛伸 (国立障害者リハビリテーション 部長) |
| ② ゲスト講演 白石 富久
(アイビジネスセンター 代表) | ⑤ 井上 秀雄 (トヨタ自動車株式会社 主査) |
| ③ ゲスト講演 八木 康史 (大阪大学 教授) | ⑥ 廣瀬 通孝 (東京大学 教授) |

主催 独立行政法人 科学技術振興機構

定員 150名程度

参加費 無料

お問い合わせ

独立行政法人 科学技術振興機構 産学連携展開部 中島、千野

TEL: 03-3238-7682 申し込み先 <http://sc.cyber.t.u-tokyo.ac.jp/events/2014/scsymp.html>

第4回 高齢者 クラウド シンポジウム

企画セッション

2014年
12月2日(火)

日経カンファレンスルーム
(日経ビル 6階)

1 14:30 - 2 15:30 - 3 16:30 -

我が国は、総人口の25%以上が65歳以上のシニア層で占められる超高齢社会を迎え、2055年にはシニア層が40%を超える見込みです。しかしながら、最近の調査によると現在のシニア層は20~30年前と比べると心身ともに10歳以上も若くなっているという報告があります。それは、視点を変えると元気高齢者が活躍できる社会をつくることで、人口ピラミッドを再逆転し、超高齢社会において安定した社会構造を構築できると見ることができます。

東京大学はIBMと連携し、超高齢社会において元気シニアの社会参加と就労を支援するICT基盤「高齢者クラウド」の研究開発を展開しております。今年で4回目を迎える本シンポジウムでは、「高齢者クラウド」が提唱するモザイク型就労によるビジネスの可能性をテーマにディスカッションを行います。

主催: 科学技術振興機構, 東京大学

後援: 東京大学大学院・博士課程教育リーディングプログラム「活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム」

協力: 日本バーチャルリアリティ学会
超高齢社会のVR活用研究委員会

協賛: 日本バーチャルリアリティ学会

企画セッション総合進行

檜山 敦 東京大学 特任講師

「シニア就労新時代」

14:30-

コメンテーター: 廣瀬 通孝 東京大学 教授

浅川 智恵子 日本アイ・ビー・エム 株式会社 フェロー



「シニア就労新時代」

長島 一由

リクルートワークス研究所
主幹研究員兼編集長

トークセッション

15:30-

「ICTでこんなに楽しい! 広がる! セカンドライフ」



「高齢化社会と情報社会の融合」

牧 壮

15:30-

新老人の会・スマートシニアアソシエーション
代表



「高齢者×オープンデータ× 位置情報=地域創生!」

高木 治夫

15:50-

京都フラワーツーリズム
プロデューサー



「スマートシニアとICTと仕事」

生部 圭助

16:10-

NPO 自立化支援ネットワーク
理事長

パネルディスカッション

16:30-

「アクティブシニアポータル構想」

モデレータ: 高木 啓伸 日本アイ・ビー・エム 株式会社
シニア・テクニカル・スタッフ・メンバー



パネリスト

南 章行

株式会社ココナラ 代表取締役



パネリスト

山口 豪志

ランサーズ株式会社 フェロー



パネリスト

久保田 雅俊

株式会社サーキュレーション
代表取締役社長

こちらから参加申し込みができます



本シンポジウムは、(独)科学技術振興機構(JST)の研究成果展開事業【戦略的イノベーション創出推進プログラム】(S-イノベ)の1課題、「高齢者の経験・知識・技能を社会の推進力とするためのICT基盤「高齢者クラウド」の研究開発」の一環で実施いたします。